

## 市場開拓に向けた取組を支える研究開発

【360（220）百万円】

### 対策のポイント

産地や事業者による国内外の市場開拓に向けた取組を支援するため、外国産物の国産化、国産農林水産物への新しい訴求ポイントの創出、及び輸出に向けた技術的課題への対応のための研究開発を推進します。

### <背景/課題>

- ・農林水産業・地域の活力創造プランが掲げる「需要フロンティアの拡大」等を通じた農山漁村の所得増大のためには、国内外の市場開拓又は市場シェア奪還に向けた取組を行おうとする意欲的な生産現場や事業者が抱える技術的課題を解決していくことが必要です。
- ・このため、産学官の研究機関等が、これらの取組を行おうとする生産現場や事業者の具体的なニーズを確認しつつ、出口戦略を明確にして行う研究開発を推進します。

### 政策目標

- カンゾウ、トウキ等の需要が多い薬用作物の生産性を向上させる技術を15以上開発（平成32年度）
- 2品目以上の地域特産物について、機能性表示を実現（平成32年度）等

### <主な内容>

#### 1. 薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発 [新規]

カンゾウ、トウキ等の需要が多い品目について、他作物の研究者・研究機関が蓄積している知見や技術も幅広く活用しつつ、低コストで安定生産を可能とする栽培・生産技術等の開発を推進します。

#### 2. 地域の農林水産物・食品の機能性発掘のための研究開発 [新規]

既存のコホート研究に機能性を有することが示唆されている地域の農林水産物や食品について、地域の関係者と連携しつつ、当該農林水産物や食品を活用したビジネスモデルを構築するとともに、機能性表示を可能とするためのエビデンス取得、機能性を高めるための栽培・加工技術の開発等に向けた研究開発を推進します。

#### 3. 国産農産物の多様な品質の非破壊評価技術の開発

農産物とその加工の多様な品質（機能性、食味、加工特性等）について、光学的手法によって非破壊で一括取得し、集出荷施設等で迅速に評価することを可能にする技術、輸出先の嗜好に合わせた品質等の選定に資する技術を開発します。

#### 4. 養殖ブリ類の輸出促進のための低コスト・安定生産技術の開発

養殖ブリ類の生産コストの削減を確立するため、ゲノム情報を利用してブリ類

[平成28年度予算の概要]

の病害虫耐性品種等を短期間で育成する技術を開発します。

〔 委託費  
委託先：民間団体等 〕

お問い合わせ先：技術会議事務局

1 及び 2 の事業 研究統括官（生産技術） (03-3502-2549)

3 及び 4 の事業 研究開発官（基礎・基盤、環境）  
(03-3502-0536)

# 市場開拓に向けた取組を支える研究開発

産地や事業者による国内外の新市場開拓又は市場シェア奪還に向けた取組を支援するため、外国産物の国産化、国産農林水産物への新しい訴求ポイントの創出、及び輸出に向けた技術的課題への対応のための研究開発を推進。

## 外国産物の国産化

- 他作物において蓄積されている技術や知見を活用しつつ、カンゾウ、トウキ等需要の多い薬用作物の低コスト・品質安定化技術を効率的に開発

薬用作物と野菜を組み合わせると導入すれば収益が上がるな

水稲、大豆

薬用作物  
野菜

薬用作物を含む高収益な複合経営モデルを策定



牧草の採種技術を応用し、薬用作物の高品質種子の低コスト生産技術を開発



土壌pH・水分等の調整による薬用作物の有効成分の含有率向上技術を開発

## 新しい訴求ポイントの創出

- 地域の農林水産物・食品について、機能性表示を可能とする科学的エビデンスを取得するとともに、その成果を地域が活用するためのビジネスモデルを作成



- 農産物の機能性、食味、加工特性等を集出荷施設等において非破壊で迅速に評価するための技術を開発

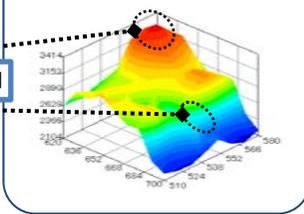
ヒトによる官能評価など

食味など様々な品質評価を行う

甘み 酸味 香り  
食感 機能性  
加工特性 など..

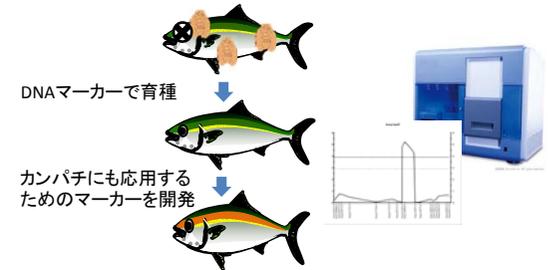
非破壊分光分析

分光情報を網羅的に取得して多様な品質をまとめて評価

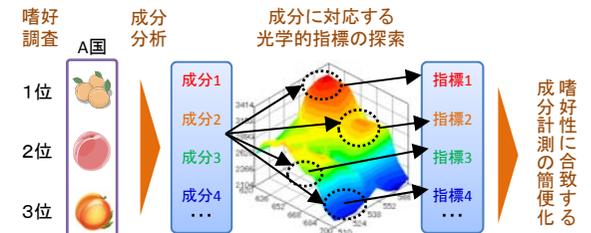


## 輸出に向けた技術的課題への対応

- 養殖ブリ類の生産コストを削減するため、ブリの病害虫耐性品種等を短期間で育成する技術を開発



- 輸出先の嗜好性に合致した品種を容易に選定できるようにするための技術を開発



国内市場の奪還

需要の創造

輸出の拡大

イノベーションが主導する農林水産業の成長産業化

# 1. 薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発(新規)

- 国内需要量の約9割を輸入に依存している薬用作物は、近年、安定的な調達が難しい状況になりつつあることから、耕作放棄地の活用や中山間地域の活性化に繋がる作物として、国内生産への関心が増大。
- 現在、農水省と厚労省が連携し、産地による取組の支援を行っているところ、輸入品に対抗できる価格と品質を有する産品を安定的に生産できるようにするための技術の早期確立向け、様々な課題が存在。
- このため、製薬メーカーや国内産地と連携しつつ、他作物の研究者・研究機関が蓄積している知見や技術も幅広く活用しながら、低コスト・安定生産技術の確立、遺伝的斉一性が高く有効成分含量の多い品種の育成等を推進。

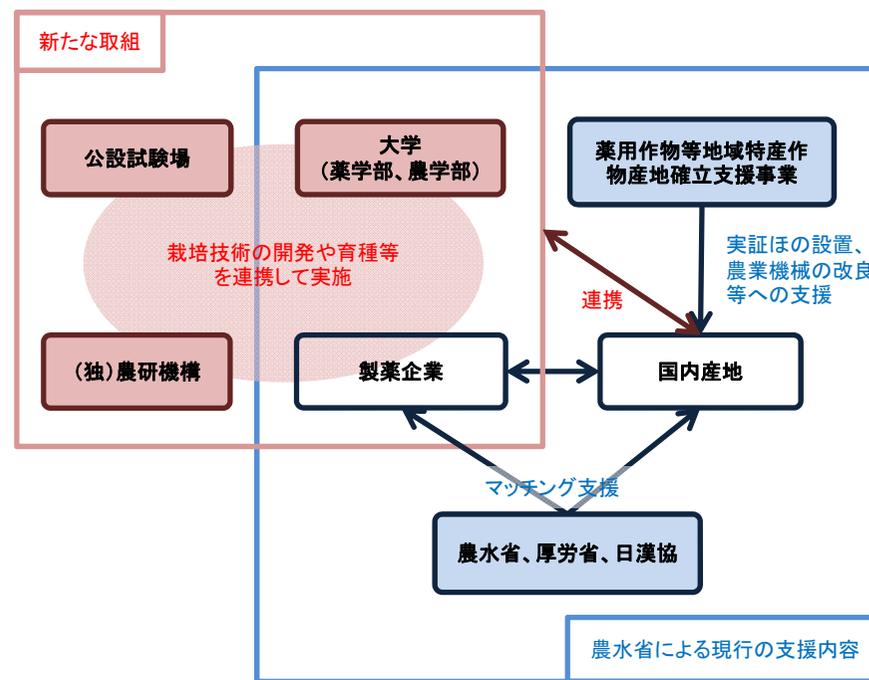
現状

低コスト栽培技術の確立に向けた産地の取組において、成果を得るまでに時間がかかる上、産地では対応できない課題も存在。  
 現行の薬用作物は野生種に近く、収穫時期、成分含有量等のばらつきが大きい、作業効率が悪く、収穫ロスも大きい。有効成分含有量を増大させる余地も大きい。

実施内容(例)

高品質な種苗の低コスト生産技術の確立  
 有効成分の含有率を高位安定化させる栽培技術の開発  
 薬用作物を含む高収益複合経営モデルの構築  
 他作物の農業機械を薬用作物栽培に利用できるようにするための改良  
 病原の同定と抵抗性評価法の確立

カンゾウ、トウキ等の需要が多い作目の生産性を向上させる技術を平成32年度までに15以上開発



対象とする薬用作物の例(国内での生産に適し、ニーズの高い品目)



カンゾウ



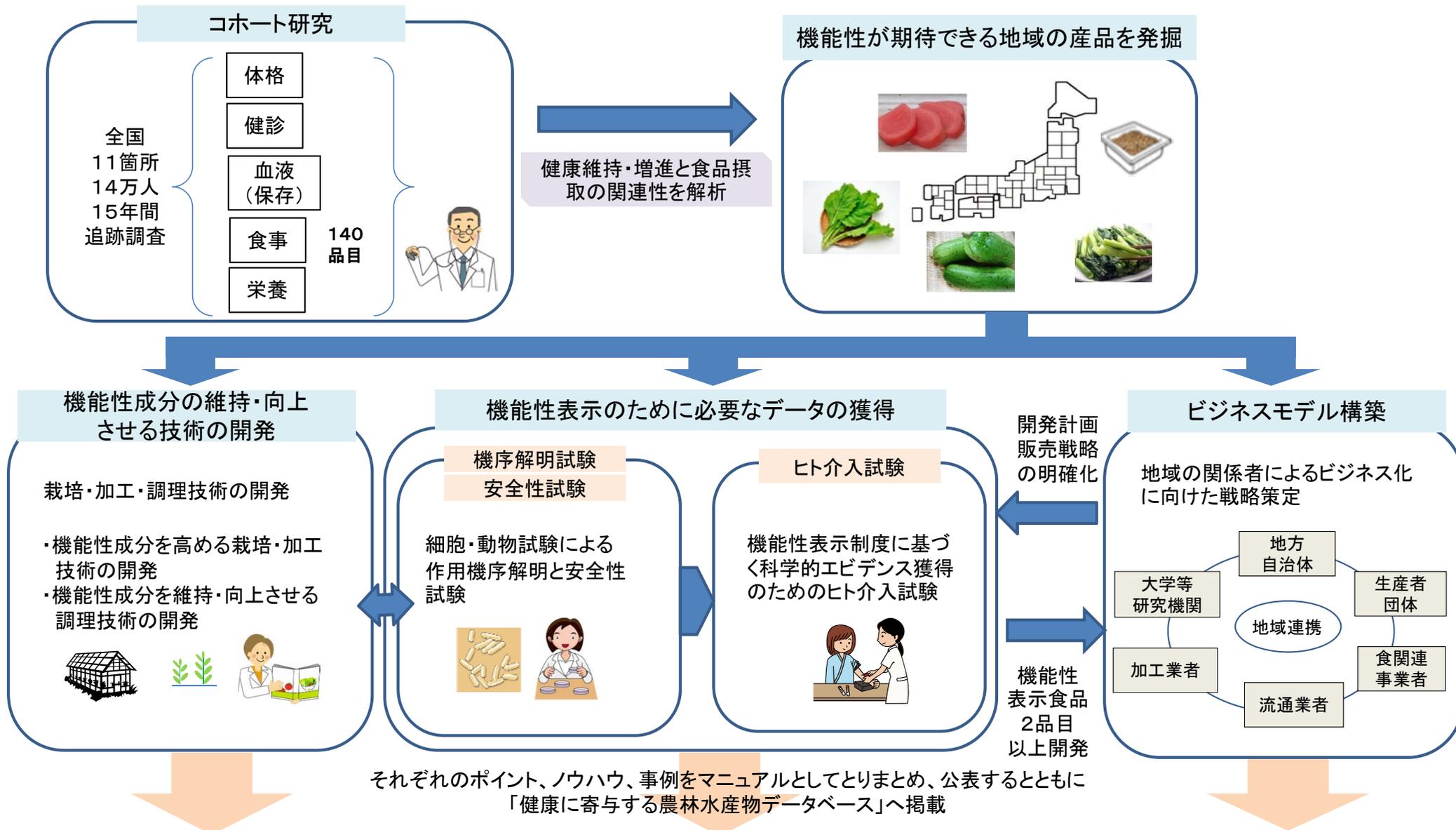
シャクヤク



トウキ

## 2. 地域の農林水産物・食品の機能的発掘のための研究開発(新規)

これまでに各地で行われてきたコホート研究の結果から、我が国の各地域には未だその科学的根拠が明らかになっていないものの、健康長寿に結び付く機能性に優れた農林水産物・食品が数多くあることが示唆されている。このため、これらを発掘するとともに、その機能性の科学的エビデンスを明らかにすること等により地域の農林水産物・食品の付加価値を向上させ、地域の農業・食品産業の活性化に繋げる。



地域の関係者が広く活用することで、地域の機能的表示のある食品の開発が進み  
地域の農業・食品産業を活性化